

恵那市人権同和講演会

テーマ

部落問題を通して 考える 日常の中の差別

部落問題の解消に向けて、講師の経験や日頃の活動、考えを通して
部落問題について理解を深め意識を高めます。
差別とはわからないような形で無自覚に行われる差別について聴き、
日常生活の中で自分の考え方や行動につなげます。

令和
8年

2/27

金
午後3時～午後4時30分
(開場：午後2時30分)

恵那文化センター 集会室

(恵那市長島町中野414番地1)

参加
無料

(申し込み不要)

講 師

BURAKU HERITAGE

上川 多実 氏



関西の被差別部落出身の両親のもと、東京の部落ではない地域で生まれ育つ。「わたし」から始まる「部落」の情報発信サイトBURAKU HERITAGEの運営メンバーの一人で、現代の見えづらい部落問題について発信をしている。単著に『〈寝た子〉なんているの？ 見えづらい部落差別と私の日常』里山社。共著に『部落の私たちがリモートで好き勝手にしゃべってみた』解放出版社。

お問い合わせ先

恵那市教育委員会社会教育課

電話：0573-26-6853

午前8時30分から午後5時15分

月曜日から金曜日（祝日・休日を除く）

主催：恵那市・恵那市教育委員会

この講演会は岐阜県からの助成を受けています。